

家庭ポンプ

シングルジェット

KP-SJ112EW形

KP-SJ218EW形

KP-SJ424EW形

取扱説明書

浅深ポンプをお買い上げいただきまして ありがとうございます。

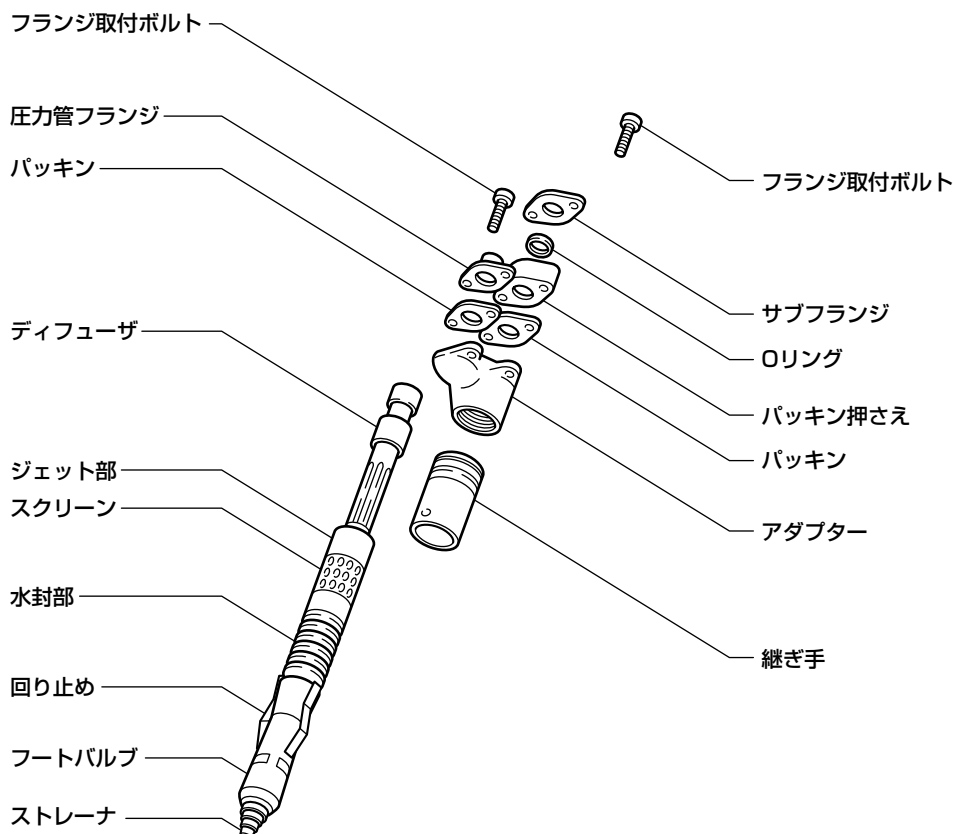
お買い上げいただきました 本製品はKP形浅深ポンプと組み合わせ、井戸径が小さい場合に深井戸ポンプとして お使いいただくための部品です。

ご使用前に この取扱説明書と ポンプ本体に付属しています取扱説明書をよくお読みいただきまして 正しくお使いください。

部品の名称

このシングルジェットは 次のような構成となっています。

万一輸送中の破損 または部品の紛失などがありましたら なるべく早く お求めの販売店に ご連絡されるよう お願いします。



ご使用に際し特に次のことにご注意ください

1. 使用可能な井戸ケーシングはKP-SJ112EW形の場合40mm(1½B)
KP-SJ218EW・424EW形の場合50mm(2B)です。
2. 井戸ケーシングは水道用硬質塩化ビニル管またはガス管(配管用炭素鋼鋼管)をお使いください。
なお硬質塩化ビニル管の薄肉管(VU管)または極度に腐食したガス管や内面に傷の多い管、切断時のカエリ、バリが大きい井戸ケーシングではジェット部の水封効果がなくなり、使用できませんのでご注意ください。

仕 様

ジェット形名	KP-SJ112EW	KP-SJ218EW	KP-SJ424EW	
ポンプ出力	150W	250W	400W	
適用機種	KP-155T -156T -155S -156S	KP-255T -256T -255S -256S	KP-405LT/406LT -3405LT/3406LT -405LS/406LS -3405LS/3406LS	
吸上高さ	m	12	18	24
押上高さ	m	6	10	11
揚水量	L/min	13	11	10
吸込管	mm(B)	25(1)	30(1¼)	
井戸ケーシング	mm(B)	40(1½)	50(2)	

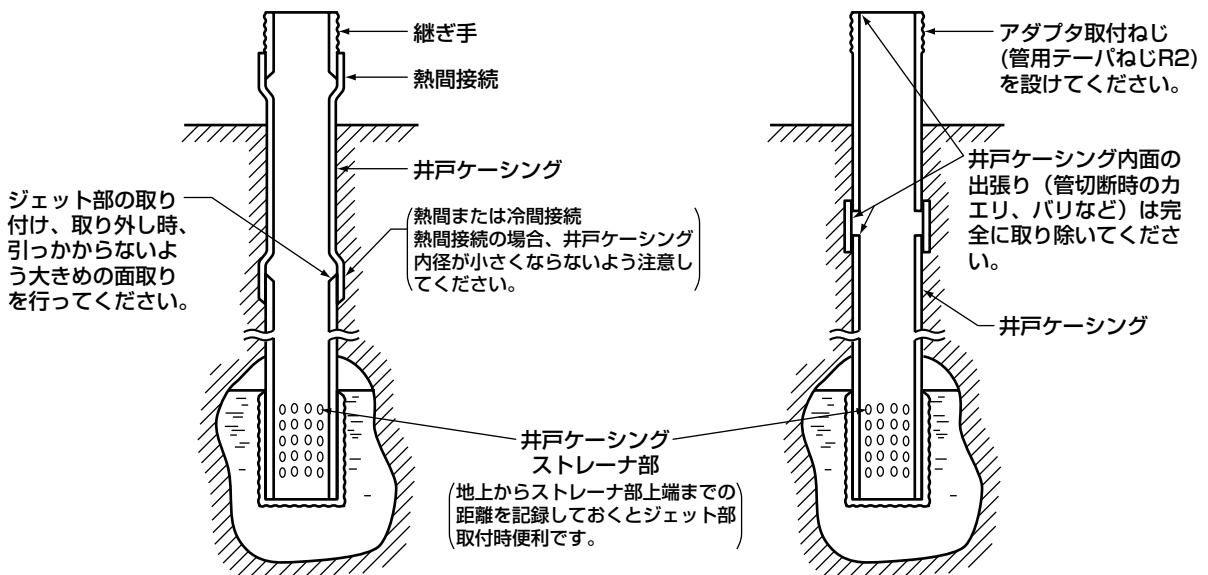
井 戸 の 工 事

新しく井戸を掘られる場合、次のことにご注意ください。

井戸ケーシングに曲がりがあるとジェット部が入らないことがありますのでご注意ください。

井戸ケーシングを塩化ビニル管で行う場合

井戸ケーシングをガス管で行う場合



硬質塩化ビニル管の薄肉管(VU管)はジェット部の水封ができませんので使用しないでください。

据付工事

ポンプ本体付属部品を使用します。

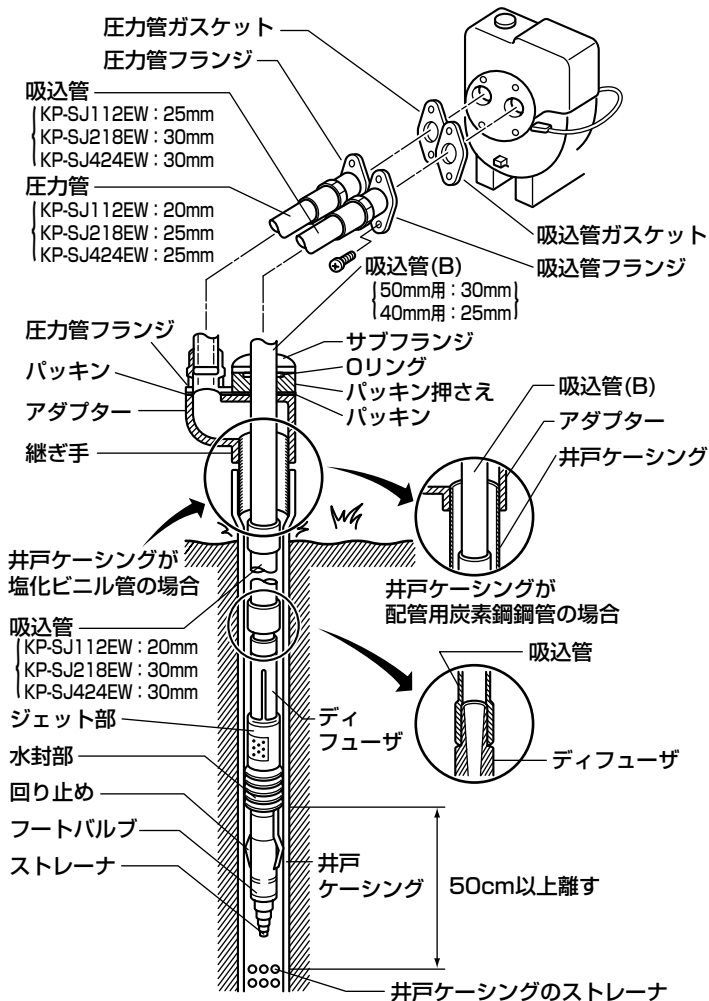
吸込管配管時の注意

ジェット部を井戸の中に落とさないため地上で配管されることをお勧めします。このとき、必ずアダプター部を貫通させてから横引きしてください。

吸込管は熱間で接続してください。市販のソケットは使用しないでください。(揚水性能が著しく低下し、場合によっては揚水できないこともあります)アダプター、パッキン押さえ部に位置する吸込管は吸込管(B)を使用してください。

KP-SJ112EWは市販の水道用硬質塩化ビニル管25mm、KP-SJ218EW・424EWの場合は市販の水道用硬質塩化ビニル管30mmを50cm程度の長さに切断して吸込管(B)としてアダプター貫通部に使用してください。

これ以外のサイズはアダプター部の水封ができませんので使用しないでください。

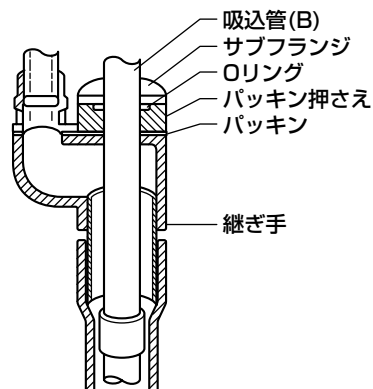


ジェット部の取付方法

1. 井戸ケーシングが塩化ビニル管の場合、継ぎ手を井戸ケーシングに熱間接続してください。なお井戸ケーシングが鋼管の場合は井戸ケーシングに直接アダプターを取り付けます。(この場合継ぎ手は不要です)
2. 吸込管の下端(井戸側)にジェット部を接続します。
3. 吸込管の上端(ポンプ側)は横引き管を接続される前にアダプター部を貫通させてから横引きを接続してください。
4. 吸込管が井戸内へ落ちないように、ロープなどで吸込管上端部を固定してください。
5. ジェット部の水封部をゆるめた状態で、吸込管を回さないようにして井戸ケーシング内へ挿入します。

このとき水封部がよくすべるように水でぬらしてください。なお、挿入時万が一引っかかった場合は無理に押し込まず、いったん軽く引き上げてから再び挿入してください。無理に押し込まれますと水封部に傷がつきます。

6. 所定の位置までジェット部を下ろしたあと、吸込管を右へかたくなるまで手で回します。(10回転位)吸込管は必ず手で回してください。パイプレンチなどで無理に回しますと、回り止めが磨耗したり接続部が外れることとなりますのでご注意ください。水封部は井戸ケーシングのストレーナ部上面より50cm以上離してください。



7. アダプター部のパッキン押さえ、サブフランジを取り付けます。
8. アダプター部からポンプまでの配管をしてください。

運 転



- 1) 呼水栓を取り外し、配管およびポンプケーシング内を呼び水で満水にします。
- 2) 呼水口よりあふれ出したら注水完了ですが、水封部の漏れを確認するため呼水栓を開けたまま2~3分間放置してください。
- 3) 蛇口をすべて開いて、呼水口に圧力計（連成計でもよい）を取り付けます。
- 4) 調整弁の調整ねじを右（時計回り）へいっぱいねじ込みます。
- 5) 電源を差し込み、ポンプが異常なく運転するかどうか確認してください。
- 6) 調整ねじを徐々にゆるめ、圧力計の指示が下表になるよう調整してください。この場合、調整が不相当であるとポンプより「ガー」という異常音が発生しますので異常音が発生した場合、調整ねじを徐々に締め込み、異常音が出ないように調整してください。
- 7) 計器がない場合には調整ねじをいっぱい締め込み、ポンプの安全運転を確認後徐々に調整ねじをゆるめ、ポンプより「ガー」という異常音が発生したら徐々に締め込み、異常音がなくなった点から約 $1/2$ 回転締め込んでください。
- 8) この状態で数分間運転し異常ないことを確認してください。
- 9) 電源を切り、蛇口を閉じ、計器を取り外し、もう一度呼び水後電源を入れ、蛇口を開閉して自動的に運転停止を繰り返すかどうか確認してください。

圧力計の指示

吸上高さ (m)	12	18	24
ポンプ出力 (W)			
150	50kPa	—	
250	100kPa		—
400	—	150kPa 120kPa	

家庭ポンプアフターサービス網

〈テラル株式会社〉

東京支社
東京産業システム課 (03)3818-8101
東京環境システム課 (03)3818-7766
東京開発課 (03)3818-6846
東京工事課 (03)3818-7764
東京システム技術課 (03)6891-7800

東北支店
仙台営業所 (022)232-0115
札幌営業所 (011)644-2501
郡山営業所 (024)922-5122

北関東支店
大宮営業所 (048)665-4018
新潟営業所 (025)287-5032
長岡営業所 (0258)29-1725
水戸営業所 (029)224-8904
土浦営業所 (029)870-2760
宇都宮営業所 (028)346-3400
前橋営業所 (027)253-0262

東京支店
城東営業所 (03)3818-7769
城西営業所 (03)3818-6752
アクアシステム関東営業所 (03)5684-0238
東京設備課 (03)3818-7799
立川営業所 (042)536-2714
千葉営業所 (043)264-5252
アクアシステム千葉営業所 (043)264-7300
横浜営業所 (045)450-5351

北陸支店
金沢営業所 (076)240-0350
富山営業所 (076)433-2151
福井営業所 (0776)28-5361

中部支店
名古屋営業所 (052)339-0871
名古屋環境システム課 (052)339-0875
名古屋産業システム課 (052)339-0891
アクアシステム中部営業所 (052)332-6510
静岡営業所 (054)285-3201
沼津営業所 (055)923-1377
浜松営業所 (053)463-1701
岐阜営業所 (058)271-6651

大阪支店
大阪営業所 (06)6378-2121
アクアシステム近畿営業所 (06)6388-5221
大阪環境システム課 (06)6378-2015
大阪産業システム課 (06)6378-2007
南大阪営業所 (072)253-4391
滋賀営業所 (077)583-3666
京都営業所 (075)647-1550
神戸営業所 (078)382-1991
姫路営業所 (079)281-5511

中国支店
広島営業所 (082)537-0660
福山営業所 (084)961-0222
米子営業所 (0859)32-2970
岡山営業所 (086)241-4221

四国支店
高松営業所 (087)867-4040
松山営業所 (089)935-4335

九州支店
福岡営業所 (092)474-7161
北九州営業所 (093)571-5731
久留米営業所 (0942)88-5825
大分営業所 (097)551-1857
熊本営業所 (096)380-8388
アクアシステム九州営業所 (096)388-6615
長崎営業所 (095)848-2221
宮崎営業所 (0985)39-1577
鹿児島営業所 (099)253-4321

夜間・休日の修理受付
監視センター TEL (03)3818-6904
FAX (03)3818-6854

〈テラル多久株式会社〉
技術相談(窓口) — 0120-24-4121
部品センター — 0120-24-3635
0952)75-4129

テラル多久株式会社
〒846-0023 佐賀県多久市南多久町長尾3898
TEL(0952)75-4123 FAX(0952)74-2773

2013年6月現在

お客さまへ

おぼえのために、お買上げ年月日、お買上げ店名などを記入してください。

お買上げ年月日	年	月	日	
お買上げ店名 (住所) (電話番号)				